

輸入小麦の政府売渡価格について

（価格公表添付資料）

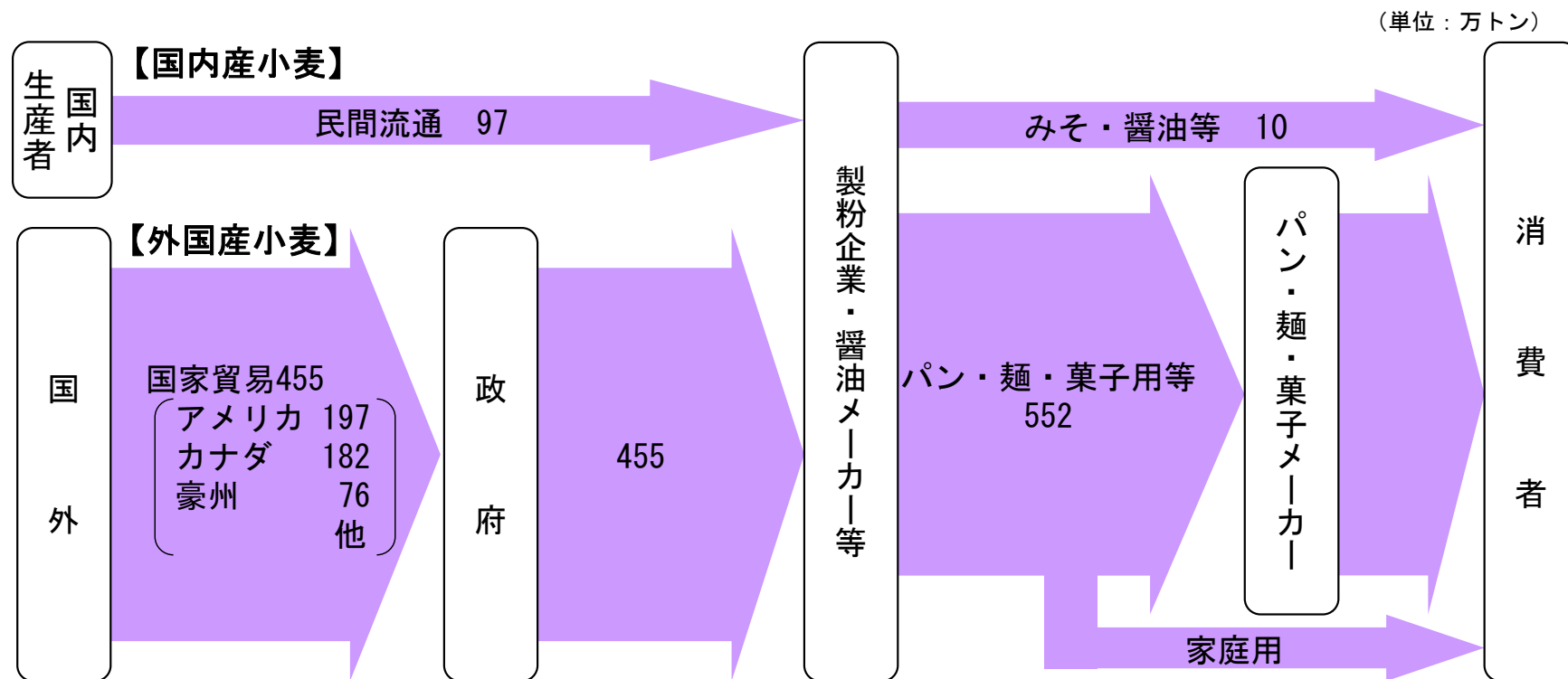
令和 8 年 9 月

農林水産省

小麦の流通の概要

- 小麦は需要量の8割以上を外国から輸入。国内産小麦は民間流通により取引されており、国内産小麦では量的又は質的に満たせない需要分について、政府が国家貿易により外国産小麦を計画的に輸入し、需要者に売り渡しているところ。
- また、米とは異なり、最終的にパンや麺として消費するため、各種の加工工程を経て流通。
- 小麦は、主に製粉企業が製粉して小麦粉にし、その小麦粉を原料として二次加工メーカーがパン・麺・菓子等を製造。

小麦の流通の現状（食糧用）



注：流通量は過去5年（R3～R7年度）の平均数量である。

輸入小麦の種類と用途

- 原料として使用される小麦の種類は、小麦粉の種類・用途に応じて異なっているところ。
- 小麦粉の種類は、たんぱく質の量によって、強力粉（パン用）、準強力粉（中華麺用）、中力粉（うどん用）、薄力粉（菓子用）に分類。
- パンや麺等の小麦関連製品の小売価格に占める原料小麦代金の割合は、1%から、小麦粉（家庭用薄力粉）でも20%程度。
- 令和8年10月期の政府売渡価格の改定が消費者物価指数に与える影響は0.008%程度。

外国産小麦の 銘柄	カナダ産ウェスタン・ レッド・スプリング (1CW)	アメリカ産ダーク・ ノーザン・スプリング (DNS)	アメリカ産ハード・ レッド・ウィンター (HRW)	オーストラリア産 スタンダード・ホワイト (ASW)	アメリカ産ウェスタン・ ホワイト (WW)
輸入数量 455万トン	161万トン	63万トン	76万トン	70万トン	57万トン

小麦粉の種類	強力粉	準強力粉	中力粉	薄力粉
主な用途	食パン 	中華麺 ギョウザの皮 	うどん 	カステラ、ケーキ 和菓子、天ぷら粉 ビスケット 
たんぱく質の 含有量	11.5~13.0%	10.5~12.5%	7.5~10.5%	6.5~9.0%

小麦関連製品の 小売価格に占める 原料小麦代金の割合	食パン：約7%	即席麺（カップ麺）：約1% 中華そば（外食）：約1%	ゆでうどん：約4% うどん（外食）：約1%	小麦粉（家庭用薄力粉） ：約20%
----------------------------------	---------	-------------------------------	--------------------------	----------------------

注1：輸入数量は、過去5年（R3～R7年度）の平均数量である。

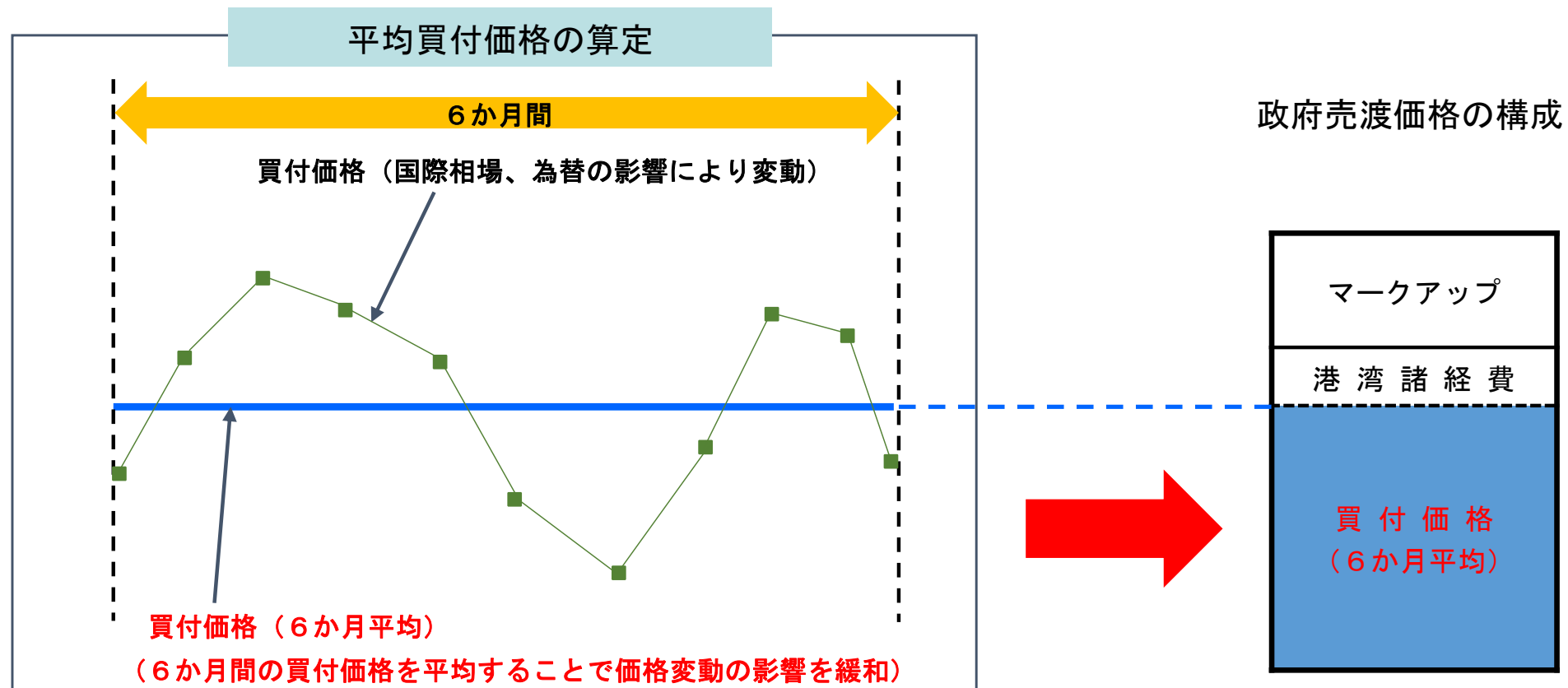
注2：輸入数量は、5銘柄以外の銘柄（デュラム小麦等）28万トンを含む。

注3：小麦関連製品の小売価格に占める原料小麦代金の割合は協力企業からのデータを元に試算したもの。

実際には、企業、製品の種類、時期等によって異なる。

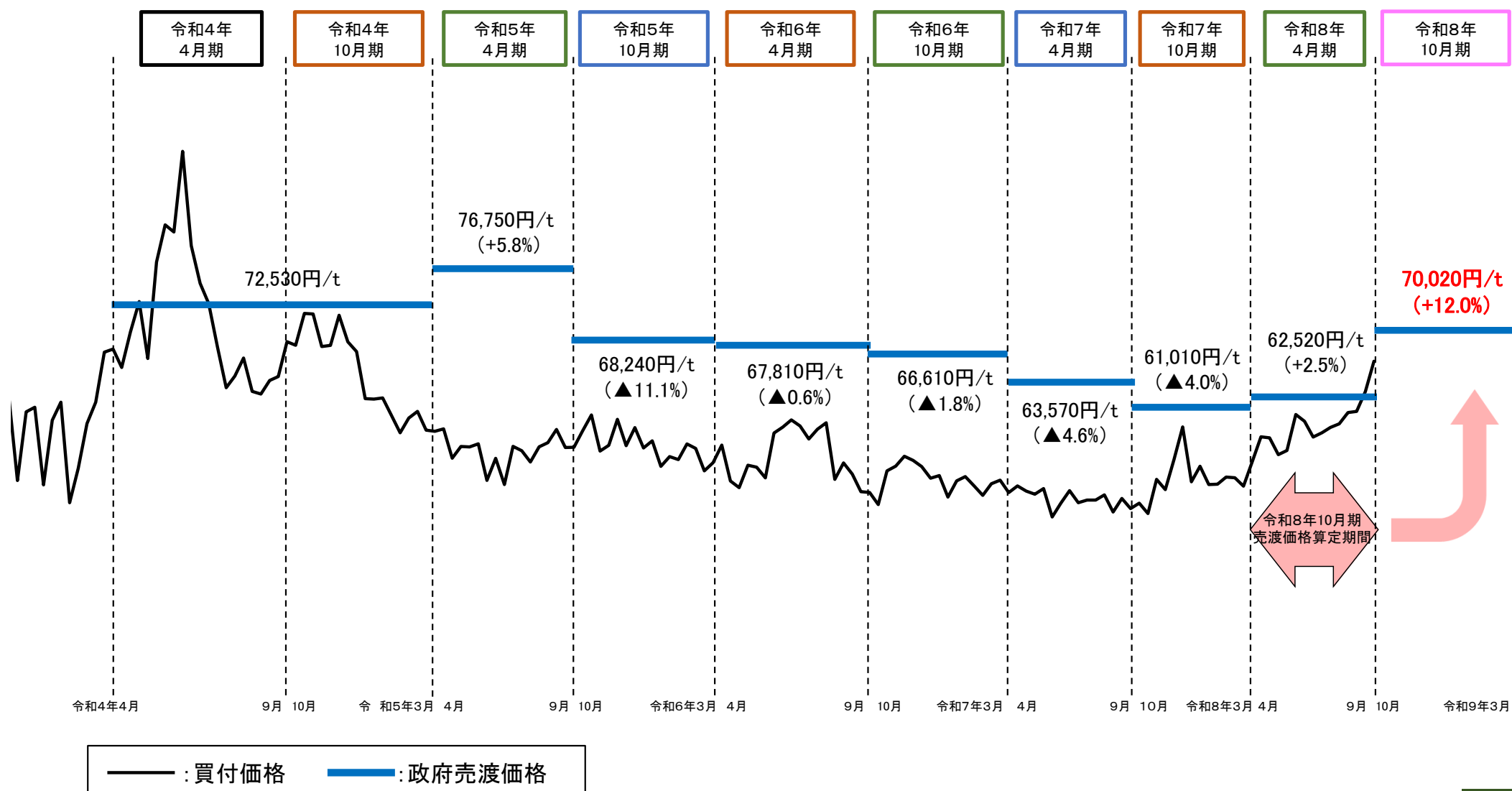
現行の輸入小麦の政府売渡制度

- 輸入小麦の政府売渡価格は、買付価格にマークアップ（政府管理経費及び国内産小麦の生産振興対策に充当）と港湾諸経費を上乗せし、年2回（4月期、10月期）改定。
- 6か月間の買付価格の平均により算定することで、国際相場の変動等の影響を緩和した上で売渡価格に反映。



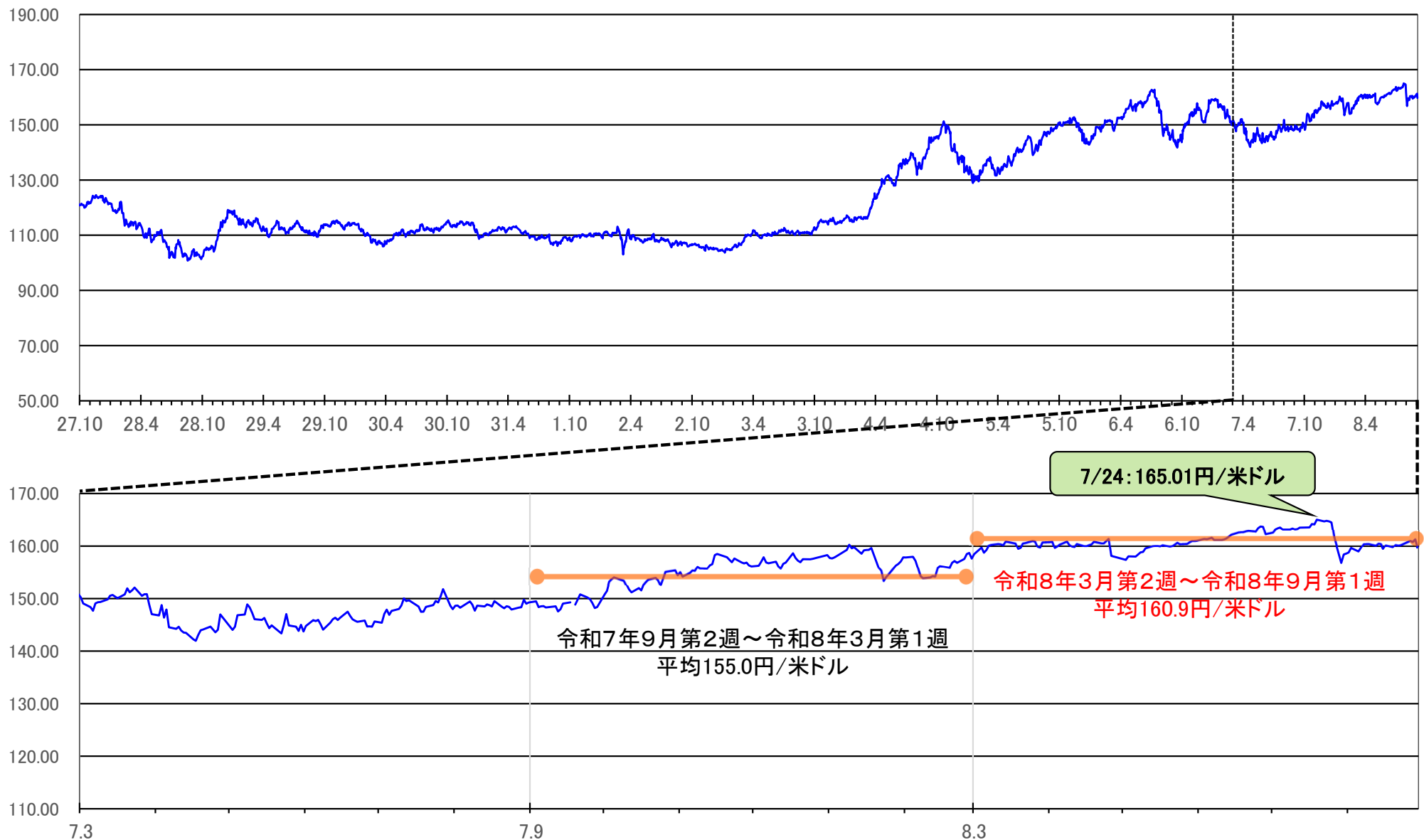
令和8年10月期の政府売渡価格

- 令和5年10月期以降、通常のルール通り、直近6か月間の平均買付価格をベースに算定。
- 令和8年10月期の売渡価格も、直近6か月間の買付価格（令和8年3月第2週～令和8年9月第1週）の平均買付価格をベースに算定。



(参考)為替の動向

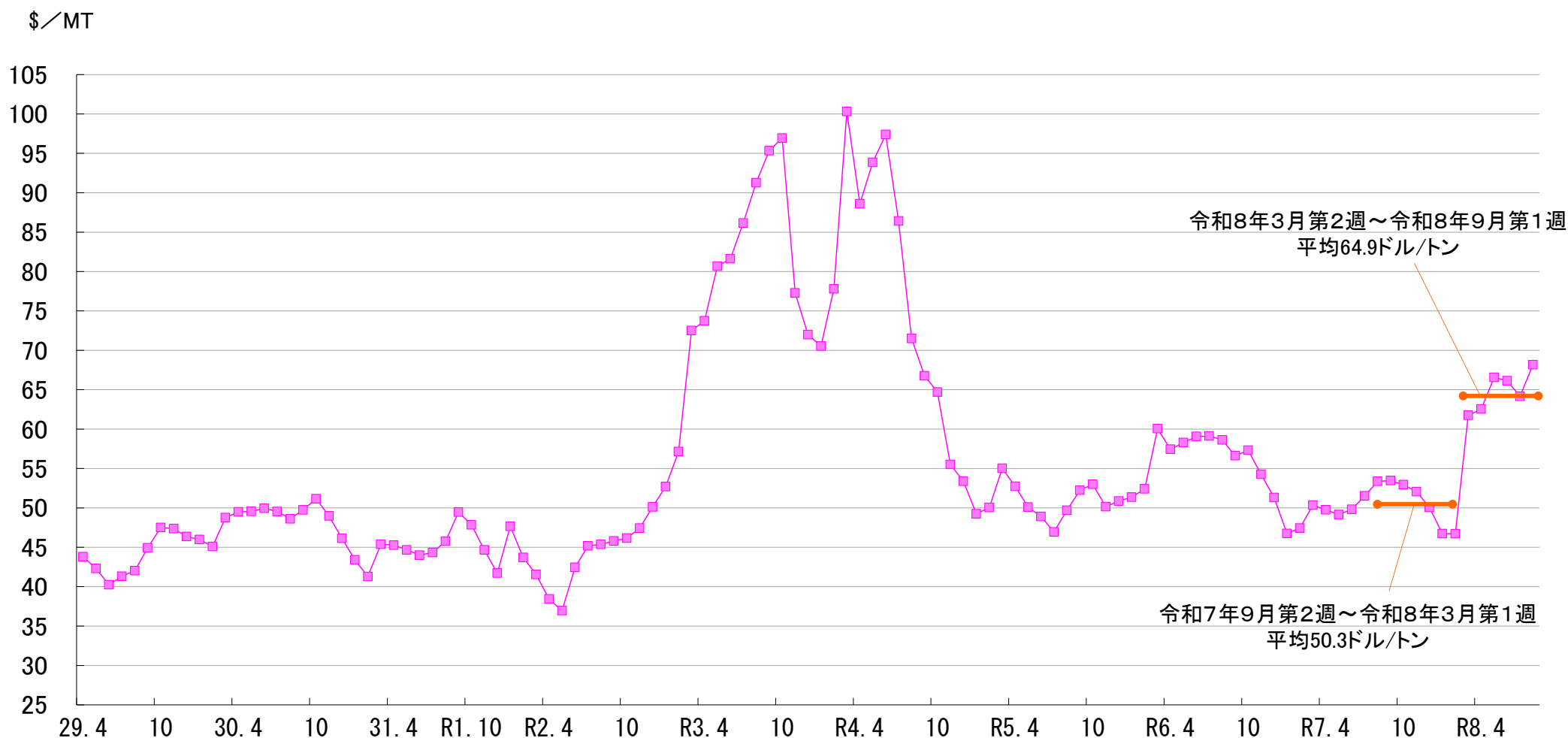
○ 為替は、令和8年3月以降円安傾向で推移し、令和8年7月には一時165円台を記録したが、その後は160円前後で推移。令和8年10月期の算定期間の平均は1ドル160.9円。



注: 対米ドル 直物為替TTS (Telegraphic Transfer Selling Rate : 対顧客電信売)

(参考)海上運賃の動向

- 新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の影響等により高騰した海上運賃は、令和4年後半に下落した後、50ドル/トン前後で大幅な変動なく推移。
- 令和8年2月以降、ホルムズ海峡をめぐる緊張の高まりに伴い、燃料費や輸送コスト等が上昇し、令和8年10月期の算定期間の海上運賃の平均は、64.9ドル/トンと前期より上昇。



注: 2万トン級のフレート(WORLD MARITIME ANALYSISより)

輸入小麦の政府売渡価格の推移

* 政府売渡価格

令和8年4月期

62,520円／トン

→

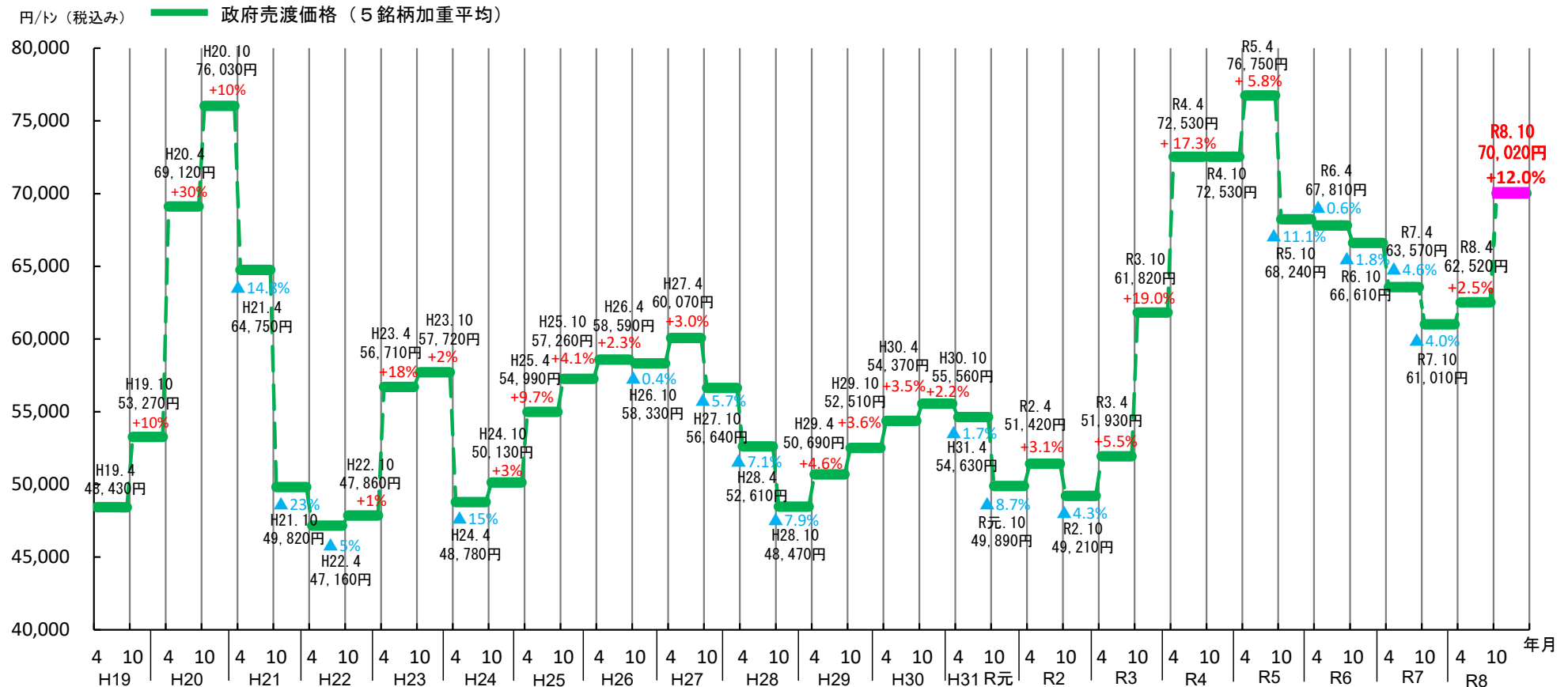
令和8年10月期

70,020円／トン(+12.0%)

(参考)

過去高かった政府売渡価格：76,750円／トン(R5.4)、76,030円／トン(H20.10)、72,530円／トン(R4.4、R4.10)

過去大きかった引上げ率：+30%(H20.4)、+19.0%(R3.10)、+18%(H23.4)、+17.3%(R4.4)



注：平成25年10月期以前は、消費税5%込みの価格であり、平成26年4月期以降は、消費税8%込みの価格である。